

平成 2 4 年 度

事 業 概 要

平成 2 4 年 4 月

川 崎 市 港 湾 局

川崎港の概要

川崎港は、港湾法の制定に伴い、昭和26年6月1日、本市が港湾管理者となり同年9月には、特定重要港湾として指定された。その後、港湾の開発は、浮島町などの県営埋立地及び千鳥町の市営埋立地が造成され、石油コンビナートをはじめとする工場が立地し、千鳥町の公共ふ頭建設とともに港としての形態が整えられた。

川崎港は、南西部を横浜港、北東部を東京港に接しており、両港とともに京浜工業地帯の一大拠点として発展した。今日では、東扇島地区を中心に外貿コンテナバースをはじめとする係留施設や保管施設の整備、並びに広域交通網の整備や物流倉庫及び冷凍冷蔵倉庫の集積により、商港機能を併せ持つ日本有数の総合港湾として位置づけられ、平成23年4月1日の港湾法改正では、東京港、横浜港とともに「京浜港」として「国際戦略港湾」に指定されている。

また、安全で使いやすい港づくりを進めるとともに、市民が海に親しめる緑地の整備等により、臨海部空間の充実を図っている。

なお、平成23年の港勢としては、入港船舶総トン数が9,961万トン、取扱貨物量が8,668万トン（速報値）＊ となっている。

＊速報値のため、数値は今後変動いたします。

- ・ 港湾区域 3, 298 h a
- ・ 臨港地区 2, 053 h a
 - 商港区 362 h a
 - 工業港区 1, 669 h a
 - 修景厚生港区 22 h a
- ・ 係留施設（水深－4.5m以上岸壁、栈橋、浮標）
 - 公共 41 バース
 - 民間 139 バース

平成 2 4 年度の主な事業

1 ポートセールス事業

- (1) 予算額 5, 1 6 0 千円
- (2) 目的 川崎港の利用を促進し、地域経済の活性化を図るため、本港への航路誘致及び集荷活動を行う。
- (3) 概要 本市内外の商社、荷主、船会社などへの個別訪問やセミナー等を実施し、川崎港利用の働きかけを行う。
また、国内外向けに発行されている港湾物流関係の新聞、専門誌に本港の広告・記事を掲載し、P Rを行う。

2 友好港交流推進事業

- (1) 予算額 1, 2 1 6 千円
- (2) 目的 ベトナムのダナン港とは、貿易の促進と相互の繁栄を図るため、友好と協力を基礎にして、技術交流、情報交換等の相互協力を促進する。
また、中国の連雲港港とは、在来貨物の一層の利用促進とコンテナ航路の開設を目指して、相互交流を図る。
- (3) 概要 ダナン港については、平成 6 年 1 月に友好港提携調印を行い、平成 1 6 年 3 月に貿易の促進を新たな目標に加えた交流確認書を取り交わし、平成 2 4 年 2 月には環境協力及び港湾・産業交流に関する覚書を取り交わした。
隔年ごとに相互訪問を行っており、平成 2 4 年度はダナン港から職員を受入れ、港湾関連事項について意見交換等を行い、両港の貿易の促進を図る。
連雲港港については、平成 1 2 年度に取り交わした交流協議書及び覚書に基づき、隔年ごとに相互訪問を行っている。
平成 2 4 年度は職員を派遣し、貿易の促進、定期航路開設についての意見交換等を行い、両港の発展を図っていく。

3 京浜港広域連携推進事業

- (1) 予算額 79,714千円
- (2) 目的 アジア諸港の躍進等により、日本港湾の国際的地位が低下している中で、川崎港・東京港・横浜港の京浜3港は、平成20年3月の基本合意に基づき、京浜港の国際競争力を高めていく。
- (3) 概要 3港連携による貨物集荷策や港湾機能の充実強化など京浜港の国際競争力強化に向けた取組みを進める。

4 港湾計画事業

- (1) 予算額 158,454千円
- (2) 目的 「京浜港の総合的な計画」を踏まえ、川崎港における土地利用、港湾施設の整備及び利用の方針を計画立案し、適正な港湾空間の形成を図るため、港湾計画の改訂を行う。
- (3) 概要 平成24年度は、環境に関する調査や船舶航行の安全性に関する調査を行うとともに、川崎港に必要な機能や土地利用計画等を検討し、港湾計画の素案を作成する。

5 千鳥町再整備事業

- (1) 予算額 17,263千円
- (2) 目的 川崎港千鳥町地区における老朽化した公共ふ頭機能の再構築・機能強化を図るため、港湾施設の再整備・再配置を推進する。
- (3) 概要 平成24年度は、川崎港千鳥町再整備計画に基づき、旧市営台秤所の撤去工事や「倉庫の再配置・高度化」に伴う荷さばき地の撤去工事等を行う。

6 港湾保安対策事業

- (1) 予算額 314,508千円
- (2) 目的 平成16年7月1日の「改正SOLAS条約」の発効により「国際船舶・港湾保安法」が施行され、川崎港においても外国からの船舶が利用するふ頭の出入り管理の強化を図り、フェンス・ゲートの保安設備を整備するとともに、24時間体制での監視や船舶による巡視を行って、テロ行為や犯罪行為を未然に防ぐ保安対策を実施している。
- (3) 概要 ふ頭の出入り管理のための警備業務や保安システムの保守管理を行うとともに、保安システム設備の補修工事等を行う。

7 東扇島東公園維持管理事業

- (1) 予算額 70,865千円
- (2) 目的 多目的広場、人工海浜、バーベキュー広場などが整備され、平常時は港に集う人々の憩いと潤いの場として利用されている東公園は、大規模災害時に国の基幹的広域防災拠点として、緊急物資等の仕分けや保管、輸送などに対応する施設でもあるため、適切な維持管理及び運営を行う。
- (3) 概要 東公園内の施設を適切に維持管理するために必要な、駐車場管理、施設受付業務、除草業務、施設補修などを行う。

8 東扇島コンテナターミナル整備事業

- (1) 予算額 452,811千円
- (2) 目的 川崎港コンテナターミナルの機能を良好に維持するために、荷役機械等の諸設備の維持補修等を行う。
- (3) 概要 ガントリークレーン3号機製作工事及びコンテナターミナル改良・補修工事を行う。

9 港湾施設維持管理計画事業

- (1) 予算額 15,006千円
- (2) 目的 老朽化が進む川崎港の港湾施設について計画的かつ適切に維持管理することにより必要な機能を維持しつつ改良・更新コストの抑制を図る。
- (3) 概要 施設を適切に維持管理するための定期点検、詳細点検及び補修工事实施のための詳細設計を行う。

10 海岸保全施設維持整備事業

- (1) 予算額 53,870千円
- (2) 目的 高潮災害等の自然災害から市民生活を守り、社会経済活動の持続性を確保するため、老朽化が進む川崎港の海岸保全施設について、計画的な維持補修工事、改良工事を実施し、海岸保全施設の機能を適切に維持する。
- (3) 概要 平成24年度は、東日本大地震の影響による地盤沈下等を把握するための現況調査、陸閘の改良工事等を行う。

11 国庫補助事業（交付金事業）

- (1) 港湾改修事業（国際戦略港湾）
 - ア 予算額 816,690千円
 - イ 目的 老朽化により使用中止している千鳥町2号岸壁の岸壁改修工事等を実施する。
 - ウ 概要 護岸の築造及び栈橋杭の打設を行う。
- (2) 港湾改修事業（補修）
 - 予算額 100,673千円
 - ①港湾施設改良
 - ア 予算額 91,433千円
 - イ 目的 老朽化が進む東扇島・千鳥町地区の護岸・係留施設の健全化及び延命化を図る。

ウ 概 要 防舷材等の附帯設備の交換及び被覆防食、電気防食等の補修工事を行う。

②長寿命化計画策定

ア 予算額 9, 240 千円

イ 目 的 国庫補助事業で整備した港湾施設について、適切かつ効果的な予防保全型の維持管理を行うため、長寿命化計画を策定する。

ウ 概 要 千鳥町地区、東扇島地区等の係留施設・護岸・防波堤について、現地調査（測量・目視調査等）及び劣化予測・評価を行い、長寿命化計画を策定する。

(3) 港湾改修事業（海底トンネル）

ア 予算額 516, 914 千円

イ 目 的 東扇島と市街地を結ぶ川崎港海底トンネルの改修を行い、交通の安全と利便性の向上を図るとともに、適切かつ効果的な維持管理を行う。

ウ 概 要 川崎港海底トンネルの耐震補強のため、せん断補強対策工事や防災設備補修工事を行うとともに、換気所補修工事を行う。また、適切かつ効果的な維持管理を行うため、維持管理計画策定を行う。

(4) 港湾改修事業（効果促進）

ア 予算額 226, 540 千円

イ 目 的 社会資本整備総合交付金事業及び地域自主戦略交付金事業と一体となって、その効果を一層高めるために必要な事業を行う。

ウ 概 要 災害時の避難誘導看板の設置や老朽化した港湾施設の適切かつ戦略的な維持管理を実現するための維持管理システムの構築、保安システム設備の補修を行う。

(5) 浮島 2 期廃棄物埋立護岸建設事業

ア 予算額 4, 177, 869 千円

イ 目的 浮島 1 期埋立事業に引き続き、廃棄物の最終処分場を確保するため、2 期事業として廃棄物埋立護岸の築造等を行う。

ウ 概要 (全体計画)

・面積 73 ^{ヘクタール} h a

・埋立処分量 18, 600 千 ^{リッポウメートル} m³

・護岸延長 外周護岸 2, 403 ^{メートル} m

平成 24 年度は、B・C 護岸の床堀工・基礎工・本体工等の工事を行う。

1 2 国の直轄事業（臨港道路東扇島水江町線整備事業）

予算額 888, 468 千円

(1) 臨港道路東扇島水江町線直轄工事負担金

ア 予算額 600, 000 千円

イ 目的 京浜港における外貿コンテナ輸送の増加、東扇島地区の物流機能高度化等に伴う港湾関連車両の交通量増加に対応するため、国直轄事業として整備推進する。

ウ 概要

- ・事業期間 平成 21 年度～平成 28 年度
- ・総事業費 約 540 億円
- ・総延長 約 4.5 ^{キロメートル} k m
- ・車線数 4 車線

平成 24 年度は、環境影響評価手続、詳細設計、施工方法の検討、用地補償などを行う。

(2) 臨港道路（東扇島）整備事業（市の事業）

①臨港道路東扇島水江町線整備受託事業

ア 予算額 26, 784 千円

イ 目的 臨港道路東扇島水江町線は、国直轄事業により整備するが、東扇島の一部区間を国から受託し、市が整備する東扇島臨港道路と一体的に整備を行う。

ウ 概 要 平成 2 4 年度は、受託区間の詳細設計、施工方法の検討等を行う。

②東扇島臨港道路の整備

ア 予算額 2 6 1 , 6 8 4 千円

イ 目 的 東扇島総合物流拠点地区への物流関連企業の進出に伴う港湾関連車両の交通量増加に対し、円滑かつ効率的な交通機能を確保するため、社会資本整備総合交付金等により臨港道路の改良等を行う。

ウ 概 要 平成 2 4 年度は、臨港道路の付替工事等を行う。

平成24年度港湾局予算及び財源内訳

平成24年度港湾局当初予算は、一般会計の港湾費が92億4,295万7,000円、港湾整備事業特別会計が23億8,651万1,000円、合計では116億2,946万8,000円で、前年度合計と比較して2億8,042万円、約2.4%の減となっている。減の主な理由は、直轄工事負担金の減によるものである。

本市の予算全体 1兆2,346億7,500万4,000円〔※特別会計・企業会計を含む。〕に占める割合は、約0.9%である。

1 一般会計(港湾費)

(単位:千円)

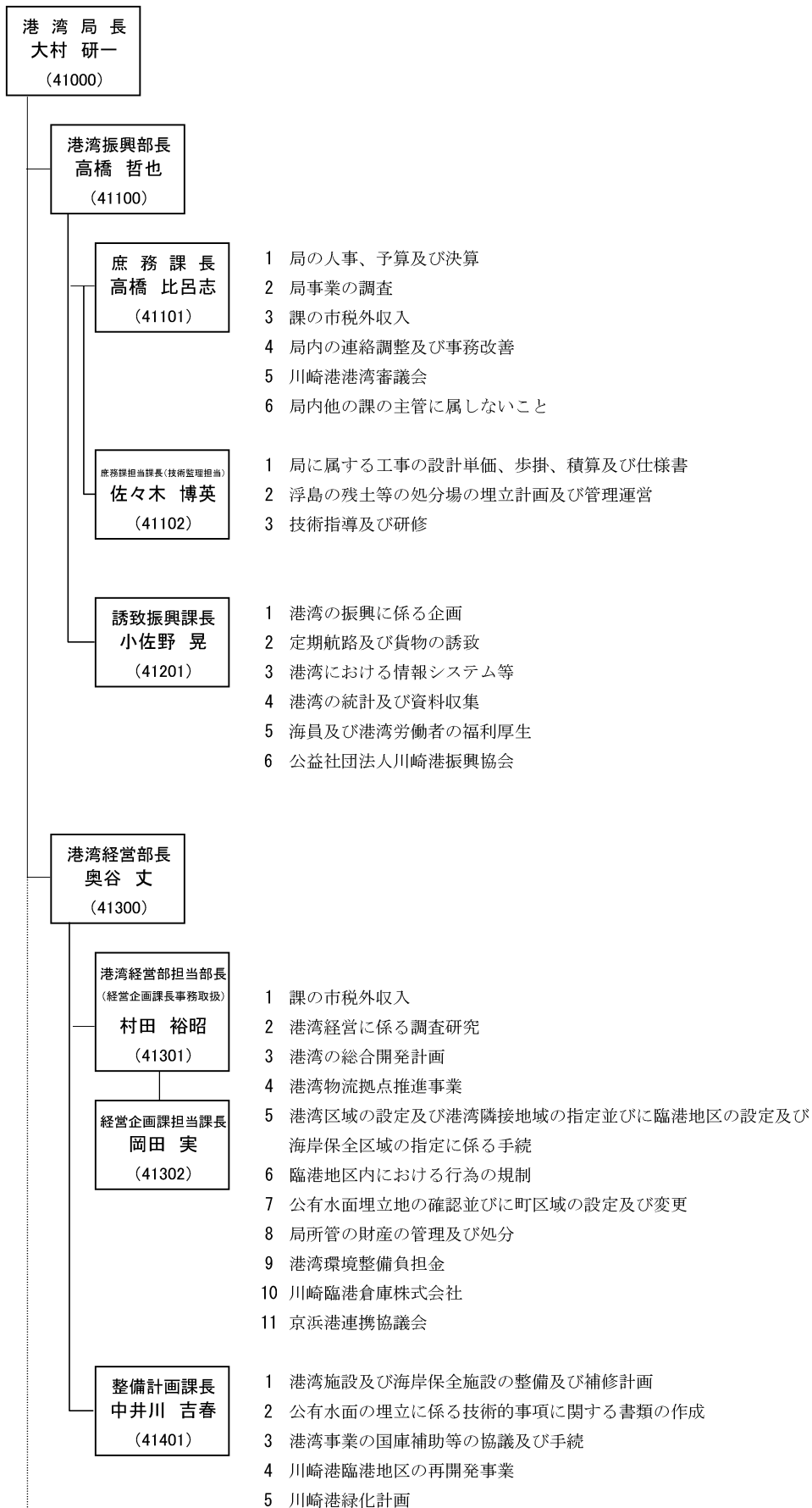
科 目	予算額	財 源						内 訳		
		13 負担金 及び分担金	14 使用料 及び手数料	15 国庫支 出金	16 県支出 金	17 財産収 入	18 寄附金	21 諸収入	22 市債	一般財源
09 港湾費	9,242,957	49,657	2,139,480	1,844,447	20,494	100,090	1	1,056,648	3,983,000	49,140
01 港湾管理費	2,470,216	—	1,386,081	—	494	99,975	1	934,525	—	49,140
01 港湾総務費	915,169	—	466,251	—	494	72,394	1	376,029	—	—
02 港湾維持費	551,311	—	500,424	—	—	—	—	1,747	—	49,140
03 港湾振興会館費	268,809	—	245,790	—	—	22,333	—	686	—	—
04 浮島埋立事業費	561,311	—	—	—	—	5,248	—	556,063	—	—
05 港湾保安対策費	173,616	—	173,616	—	—	—	—	—	—	—
02 港湾建設費	6,772,741	49,657	753,399	1,844,447	20,000	115	—	122,123	3,983,000	—
01 港湾環境整備費	175,671	49,657	92,829	—	—	115	—	33,070	—	—
02 港湾改修費	1,690,089	—	218,558	730,747	—	—	—	26,784	714,000	—
03 港湾改良費	101,204	—	101,204	—	—	—	—	—	—	—
04 港湾工事負担金	600,000	—	—	—	20,000	—	—	—	580,000	—
05 廃棄物埋立護岸 建設費	4,205,777	—	340,808	1,113,700	—	—	—	62,269	2,689,000	—

2 港湾整備事業特別会計

(単位:千円)

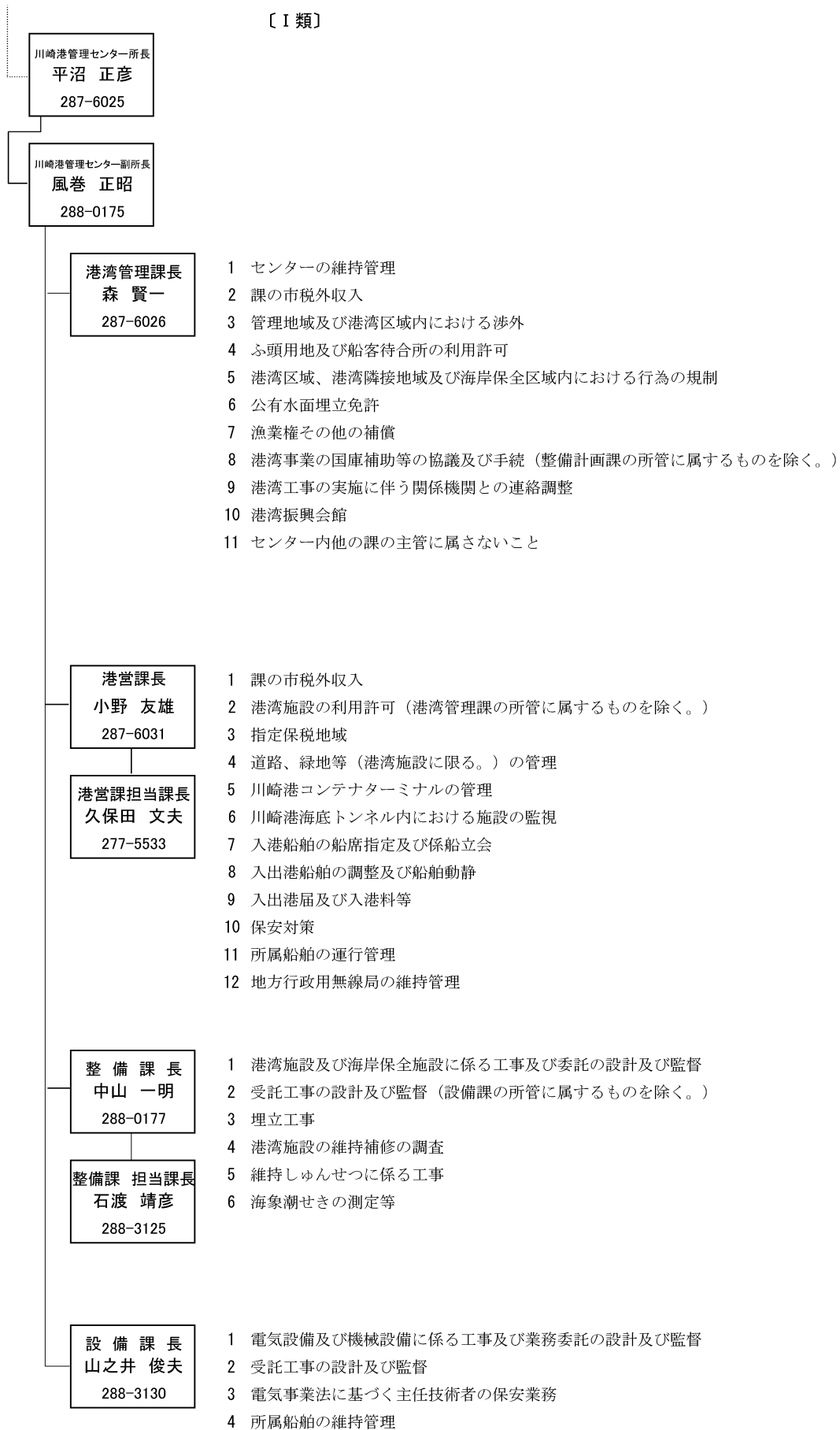
科 目	予算額	財 源 内 訳					
		01 使用料及び 手数料	02 国庫支出金	03 県支出金	04 財産収入	05 繰入金	06 繰越金
01 港湾整備事業費	1,484,697	583,166	204,987	494	482,541	200,000	—
01 運営費	371,476	300,881	28,820	494	41,281	—	—
01 港湾総務費	230,584	188,809	—	494	41,281	—	—
02 港湾保安対策費	140,892	112,072	28,820	—	—	—	—
02 整備費	1,113,221	282,285	176,167	—	441,260	200,000	—
01 上屋倉庫事業費	23,082	23,036	—	—	—	—	46
02 港湾共同事務所事業費	23,585	17,812	—	—	—	—	5,773
03 東扇島コンテナ機能施設整備費	640,780	183,225	—	—	250,811	200,000	—
04 東扇島施設整備費	425,774	58,212	176,167	—	190,449	—	946
02 諸支出金	900,814	226,086	—	—	627,124	—	10
01 積立金	237,819	68,802	—	—	121,413	—	10
01 港湾整備事業基金積立金	237,819	68,802	—	—	121,413	—	10
02 繰出金	662,995	157,284	—	—	505,711	—	—
02 一般会計繰出金	662,995	157,284	—	—	505,711	—	—
03 公債費	—	—	—	—	—	—	—
04 予備費	1,000	1	—	—	1	—	998
合 計	2,386,511	809,253	204,987	494	1,109,666	200,000	10
							62,101

港湾局組織図（平成24年4月1日現在）



港湾局組織図（平成24年4月1日現在）

〔Ⅰ類〕



港湾局理事者名簿

平成24年4月1日現在

No	役 職 名	氏 名	ふ り が な
1	港湾局長	大 村 研 一	おおむら けんいち
2	港湾振興部長	高 橋 哲 也	たかはし てつや
3	港湾経営部長	奥 谷 丈	おくとに たけし
4	港湾経営部担当部長 (経営企画課長事務取扱)	村 田 裕 昭	むらた ひろあき
5	川崎港管理センター所長	平 沼 正 彦	ひらぬま まさひこ
6	川崎港管理センター副所長	風 巻 正 昭	かざまき まさあき
7	港湾振興部 庶務課長	高 橋 比 呂 志	たかはし ひろし
8	港湾振興部 庶務課 担当課長 (技術監理担当)	佐々木 博 英	ささき ひろひで
9	港湾振興部 誘致振興課長	小 佐 野 晃	こさの あきら
10	港湾経営部 経営企画課 担当課長	岡 田 実	おかだ みのる
11	港湾経営部 整備計画課長	中 井 川 吉 春	なかいがわ よしはる
12	川崎港管理センター 港湾管理課長	森 賢 一	もり けんいち
13	川崎港管理センター 港営課長	小 野 友 雄	おの ともお
14	川崎港管理センター 港営課 担当課長	久 保 田 文 夫	くぼた ふみお
15	川崎港管理センター 整備課長	中 山 一 明	なかやま かずあき
16	川崎港管理センター 整備課 担当課長	石 渡 靖 彦	いしわた やすひこ
17	川崎港管理センター 設備課長	山 之 井 俊 夫	やまのい としお

※網掛けになっている者が今回出席している理事者です。

議会担当者

	港湾振興部	庶務課庶務係長	峰 岸 哲 也	みねぎし てつや
	港湾振興部	庶務課庶務係	渡 邊 泰 晴	わたなべ やすはる
	港湾振興部	庶務課庶務係	高 野 弘 之	たかの ひろゆき